

# 応急手当のポイント

## ● 出血

- ①大きな出血は、清潔な布かガーゼを直接、傷口にあててしっかりと押さえる。
- ②止まらないときは、「止血点」(脈拍を感じるところ)を押さえる。
- ③出血が少ないときは、水道水などのきれいな水で洗って汚れを流し、傷口の周りを消毒してからガーゼをあてて圧迫する。



### [してはいけないこと]

- 脱脂綿やちり紙を、傷口にあてないこと。
- 汚れた手や布で押さえないこと。
- 勝手に薬を塗らないこと(医師の治療を妨げます。)

## ● やけど

- ①すぐに水で冷やす。十分に冷やすこと。
- ②肌着、靴下などの衣服は無理に脱がさず、その上からゆるやかに水をかける。
- ③手足は水につける。



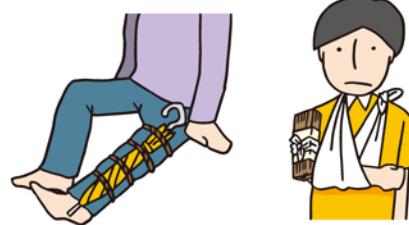
### [してはいけないこと]

- やけどの皮膚は細菌感染しやすいので、水ぶくれを破らないように注意する。また、患部にさわらないこと。
- 冷やすとき、水道の蛇口などからの流水を直接、傷口にあてない。



## ● 骨折

- ①必ずむくみがおこるので、圧迫を除く。靴を脱がし、シャツやズボン、靴下などの着衣は切り開く。
- ②その上で副木をあてる。副木は、両方の関節をこえてあて、図のように固定する。くるぶしなど骨の突起部にあたるようなときは、布などやわらかいものがあてがう。
- ③患部が心臓より低くならないようにするため、寝かせる。



### [してはいけないこと]

- 露出した骨には手を触れない。傷の消毒などもしない。
- 捻挫、脱臼などと勝手に判断しない。また、無理に動かさない。

## AEDの使い方

AED の操作手順は、すべて機械が音声メッセージを出してガイドしますので、音声メッセージのとおりに行えば一般の人でも簡単に操作ができます。



### 1. 電源を入れる。

### 2. パッドを貼る。

パッドを貼る場所は、パッドに図で表示されているので、それにしたがって患者に貼り付けましょう。なお、電気を使用しますので、感電防止のために皮膚が濡(ぬ)れていないことを確認しましょう。

### 3. コネクターを指定された場所に差し込む。

機械が心電図を解析し、心室細動(心臓の痙攣(けいれん))を検出すると、自動的に充電します。

### 4. 放電ボタンを押す。

充電が完了すると、「放電してください」との音声メッセージが流れるので、それにしたがって、放電ボタンを押しましょう。このとき必ず自分と周りの人も離れ、患者に触れないようにしましょう。